

# 新年のごあいさつ

# 平成29年 迎春

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、平成29年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

荒尾市の一年を振り返りますと、平成28年は激動の年だったと感じています。

新年明けて早々、1月には40年振りの大寒波が襲来し、道路や水道管の凍結など、市民生活に大きな影響を及ぼしました。市民の皆さんのライフラインを守るため施設の強化に努めます。

春、4月には熊本大地震が発生し、県下に甚大な被害をもたらしました。幸いにも本市に人的被害などの大きな被害はありませんでしたが、今回の震災を教訓に本市の防災対策の強化を図り、安心・安全のまちづくりを進めていきます。

8月から9月にかけての夏の時期には干ばつと高温が続いた影響で、本市の特産品である荒尾梨に大きな被害がありました。市としては国・県の補助事業を活用して、被害を受けた梨農家の皆さんへの対応やヤケ梨（ミツ症）対策を推進していきます。

世界文化遺産の万田坑が登録1周年を迎

え、秋たけなわの11月に開催した記念イベントでは県内外から多くの参加をいただき、荒尾の世界に誇る遺産を大きくアピールできました。

一方、長年の懸案事項であった庁舎のバリアフリー化においては、昨年、エレベーターの設置が完了し、老朽化していたトイレ改修も一部工事完了しており、2月中には本庁舎全てのトイレの改修が完了する予定です。ことしから、少しは快適に庁舎をご利用いただけます。

また、国が掲げる「地域包括ケアシステム」の実現に向けた第一歩として認知症サポーター養成講座の市職員受講率100%を実現しました。今後も市民の皆さんが住みなれた荒尾でいつまでも安心して暮らせるように市民生活の向上に努めます。

そして、市民の幸福量の最大化を目指す「しあわせ創生あらお」の実現に向けた、市政の運営を行います。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう祈念して、新年の挨拶といたします。

荒尾市長職務代理者 藪内孝則



荒尾市長職務代理者 藪内孝則

新年明けまして、おめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から市議会の運営に対し、温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年は益城町で4月14日夜と16日未明に2度の最大震度7を観測するなど、県下に大きな被害をもたらした熊本大地震が発生し、本市でも観測史上最大の震度5弱を観測しました。幸いにも本市では人的な被害や家屋の倒壊などの大きな被害はありませんでしたが、今回の熊本地震を教訓として、早急に本市の防災対策の強化を図り、市民の皆さんが安心・安全に暮らせるまちづくりの推進に市議会としても努めていきます。

本市では新市民病院建設の問題、荒尾競馬場跡地の区画整理事業、公共施設の老朽化対策、ごみ処理施設問題などの重要課題が山積しています。議員18人全員がそれぞれの課題を市民の皆さんと共有し、解決に向かって施策を検討し、議会という場を通じて二元代表制の下、しっかりと役割を果たしてまいります。

一方、荒尾市議会では、昨年は委員会や議員提出による市内の中小・零細企業の育成、発展を図るための「荒尾市中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定や「閉山炭鉱水道施設整備（水道一元化）」の推進を図るための意見書、「荒尾港海岸堤防老朽化対策事業の促進を計るための決議」を全会一致で可決しました。

昨年の第1回臨時会から本会議のインターネット配信を本格的に開始し、これまで多くの市民の皆さんに視聴いただいています。また、昨年は庁舎エレベーターの設置に伴い、車椅子での傍聴ができるように議場傍聴席の改修を行いました。今後も引き続き議会活性化に取り組んでいきます。

本年も市民の皆さんが健康で、安心して暮らし続けることが出来るまちづくりに努力してまいります。どうか、本市議会の活動に對しましてご理解をいただきますようお願いいたします。

荒尾市議会議長 小田龍雄



荒尾市議会議長 小田龍雄